

入

メンテ

・管路更新へ
ニングについ
向けた手引を
業務発注に必
様書も提示し
す。

の導入が進ま
して、各自治
る情報を把握
可能性もあ
め国交省は、
条件や導入効
た上下水道D
ログを周知。
支援する。
ンスに必要な
報のデータベ
十分であるこ
。上下水道事
媒体で管路情
している自治体
3割に上る。

導入のほか、
域連携も見据
報の電子化と
データ共有が
帳の整備に向
・財政的な支

べ、日本人
どが指摘さ
まり、肥満
の食事で
足りないの

ドローン測量人材養成へ

○…連携協定…○

道ハイテクノロジーと札幌工科の両専門学校

産業分野に直結したド
ローン活用スキルを育み
たい道ハイテクノロジー
と、ドローン測量ができ
る人材の育成手法を模索
していた札幌工科の両専
門学校が、それぞれド
ローンパイロット、測量技
術者を養成できる強みを
生かして連携。両校の学
生がドローンと測量を一
貫して学べる教育プログ
ラムを7月に開始
する。

「したい」と意気込んだ。
新プログラムの開始に
先立ち、19日に札幌工科
の講師が道ハイテクノロ
ジーで、20日にドローン
教育を支援するCDP北
海道が札幌工科でそれぞ
れ特別授業をする。

締結式で札幌工
科の三上敬司校長
は「互いに交流し
ながら発展できれ
ば」と展望。道ハ
イテクノロジーの
佐藤俊校長は「学
生へ人生の道筋を
提供できる機会に
した。



専・専教育連携協定締結
2025年6月11日

ガイド育成事業 道内2団体採択

観光庁が支援へ
最大2000万円

観光庁は地方の観光ガ
イド不足解消に向けた、
ローカルガイド人材の持
続的な確保・育成事業に
道内の2団体を採択し
た。質の高いガイドの養

成などに最大2000万
円を支援する。
採択されたのは、札幌
市民の兼業ガイド育成を
目指す「札幌市における
ガイドの裾野拡大協議
会」と、住民らによる体
験型プログラムの造成に
取り組む「道東4地区観
光連携協議会」。

観光庁によると、地方
ではガイド報酬の低さに
加え、集客の季節差や通
年の就労が難しいといっ
た問題を抱えている。
ガイド人材の不足が観
光地の魅力低下につな
がるケースもあることか
ら、観光庁は2025年
度に地方ガイド育成の補
助制度を創設。地域住民
らを核とした持続可能な
人材の確保・育成を目指
している。

インフルエンザの発生
の影響で値上がりした鶏卵
を含む農林水産物が42・
でも4・7%下がった。

数は、円ベースで10・3
%下落。契約通貨ベース
でも4・7%下がった。

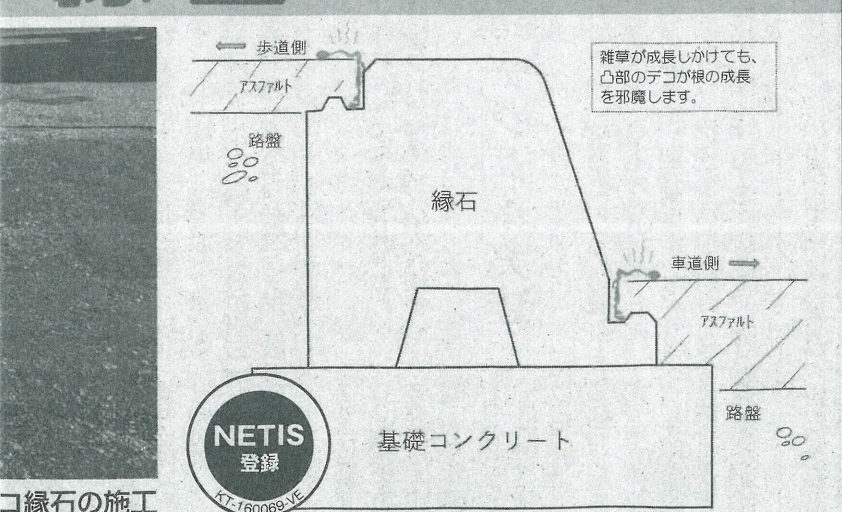
インフラDX会社 資本業務提携締結

竹中工務店

竹中工務店は10日、社
会インフラDXを担うセ
ンシンロボティクス（本
社・東京）と資本業務提
携契約を締結したと発表
した。共同開発した技術
を進化させ、検査の自動
化による省力化や遠隔地
からの就労を実現。建設
現場の働きやすさの改善
を図る。

センシンロボティクス
のAIアプリケーション
開発プラットフォームを
ベースに2021年から
技術開発に着手。ドロー
ンの自動飛行で屋内点検を
する「BIM×Dron
e」、ゲームコントローラ
ーによる遠隔ロボット操
作システム「Remot
e base」を開発した。
今後はこれらの進化に
加え、竹中工務店が開発
した、ロボットの自律走
行にBIMデータを活用
する「建設ロボットプラ
ットフォーム」に両社の
ロボティクスやAI技術
を活用。建設現場への円
滑な導入体制を確立し、
生産性向上を加速させたい
と考えた。

緑石がお手伝いします!



旭川開発建設部・旭川建設管理部 管内
富士コンクリート株式会社

営業品目	
大規模修繕工事 大規模改修工事	◆マンション ◆オフィスビル ◆その他大規模施設
防水工事	◆超速硬化ウレタン防水 ◆塩ビ系シート防水 ◆地下構造体シームレス防水
防食工事	◆下水道・上水道施設 ◆日本下水道事業団適合法 ◆日本水道規格（JWWA）適合
外壁工事	◆塗装仕上げ工法 ◆タイル仕上げ工法 ◆バリューアップ工法
外断熱工事	◆湿式通気外断熱工法 ◆快適性・省エネ性の向上 ◆建物の耐久性の向上
コンクリート構造物 改修・保護・補修工事	◆高架橋・トンネル躯体 ◆超速硬化ウレタン厚膜塗膜工 ◆各種高機能樹脂工法